

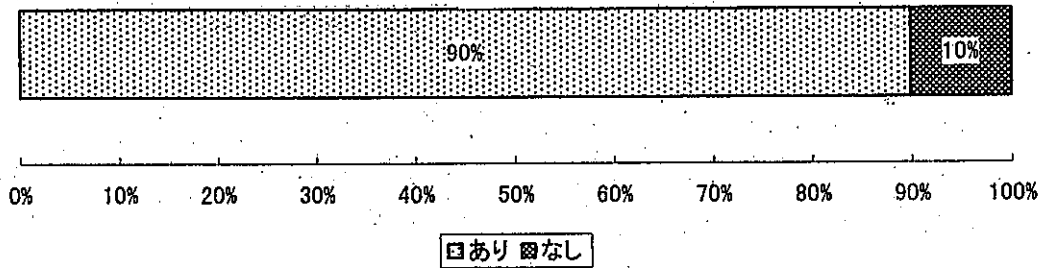
通信簿に関する調査研究  
(平成15年5月 国立教育政策研究所)

○調査対象(全国より無作為抽出)  
小学校750校、中学校500校 計1,250校

【中学校】

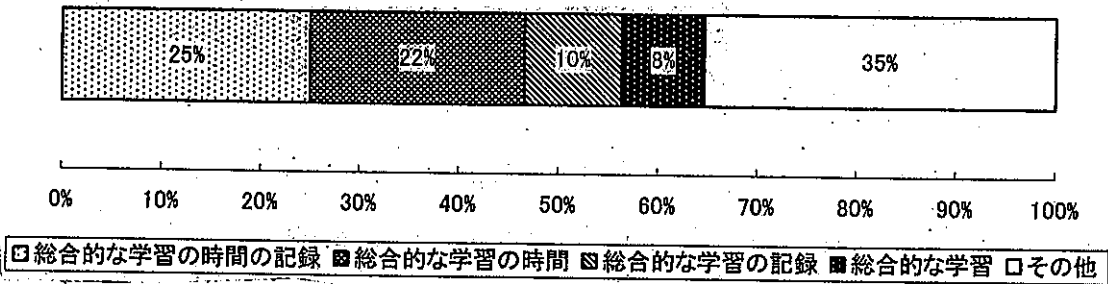
「総合的な学習の時間の記録」欄

(1) 欄の設定



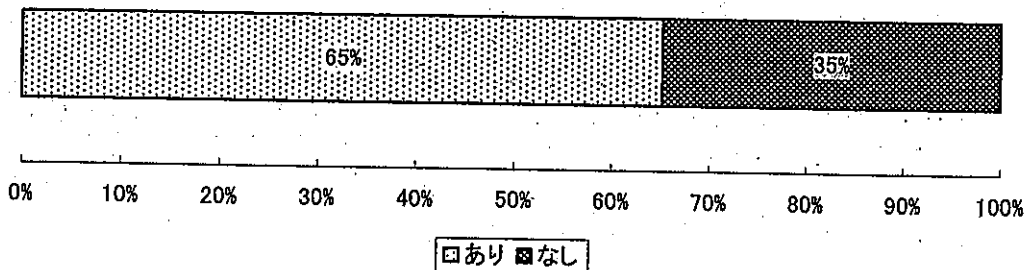
n=227

(2) 名称



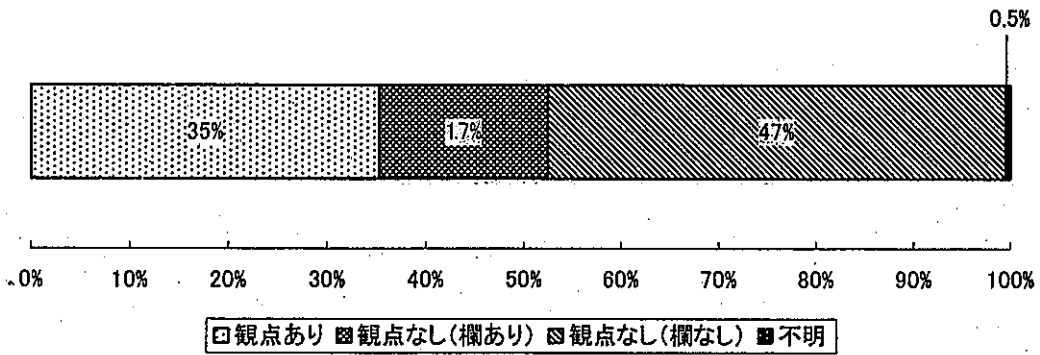
(3) 学習活動の欄の有無

n=204



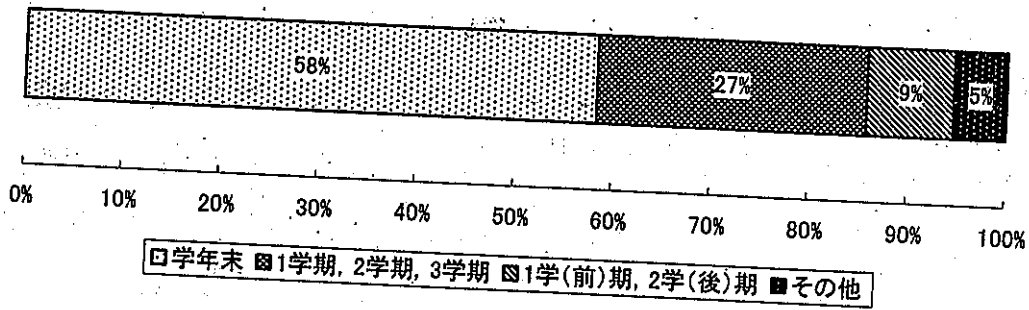
n=204

(4) 観点の表示



n=204

(5) 学期ごとの評価欄の有無



n=204

## 「総合的な学習の時間の記録」欄

### (1) 観点を記載していない例

<例 15>

総合的な学習の時間	○ 学習活動(テーマ) [ _____ ]
	_____
	_____
	_____

<例 16>

	(自然・文化・社会)	(職業体験)	(地域社会)
総合	_____	_____	_____
	_____	_____	_____

### (2) 観点等を記載している例

<例 17>

総合的な学習の状況				
観点項目\主題テーマ	観点別学習状況			
	前期	テーマ「地域に学ぶ」	後期	テーマ「 _____ 」
	評価	所見	評価	所見
課題設定能力				
問題解決能力				
学び方・ものの考え方				
学習への主体的・創造的な態度				
自己の生き方を考える力				
関心・意欲・態度				
総合的な思考・判断				
学習に関わる技能・表現				
知識を応用した能力				
コミュニケーション能力				
情報活用能力				

<例 18>

Ⅲ 「総合的な学習の時間」の記録（前期と後期に分けて、取り組んでいます。）

前期	グループ 所属班	活動 目標	後期	活動 目標
総合的な学習の時間の評価の観点			総合的な学習の時間の評価の観点	
前 期	1 課題意識をもって活動している。		後 期	1 言葉遣い気をつけて、積極的に人とコミュニケーションをとろうと取り組んだ。（電話の対応を含む）
	2 課題追求の見通しをもって計画を立てている。			2 目的に応じて依頼状や札状を書くことができた。
	3 仲間と協力し合いながら、課題を納得いくまで追求する。			3 自分の考えや思いを的確に伝えることができる。
	4 学んだこと、体得したことを実生活で役立たせようとする。			1 情報基礎について関心をもって取り組むことができる。
	5 地域の方と積極的にふれあい、自発的なコミュニケーションをとることができる。			2 情報処理の基礎として、コンピュータの操作が正しくできる。
	6 調べたこと、学んだことを他に分かりやすくまとめることができる。			3 アプリケーションソフトや周辺機器（デジタルカメラ等）を利用できる。
	7 分かりやすく工夫した表現をすることができる。			4 インターネットの情報を取り入れ、有効に活用できる。
総合 所見			総合 所見	

<例 19>

総合的な 学習の 時間	項 目	「学 び の 姿」の 観 点	評 価		
			1	2	3
総合的な 学習の 時間	共に生きる力	・さわやかな服装やあいさつを心がけ、マナーを守り、お互いの立場を尊重した適切な言動がとれる。 ・様々な体験や人々との交流を通して、多様なものの考え方や生き方があることを理解しようとする。			
	課題設定の能力	・身近な生活や学習について関心を持ち、自分の追求したい課題を決めることができる。			
	主体的・創造的な態度	・計画を立てて、意欲的に追求することができる。 ・学んだことを生活や学習に生かそうとする。			
	学び方・表現の仕方	・学習の仕方を工夫したり、わかりやすくまとめたり、伝えたりすることができる。			

<例 18>及び<例 19>の評価は、「A, B, C」の3段階で表すようになっている。

(3) 自己評価欄を設けている例

<例 20>

	項 目	評 価		
		1学期	2学期	3学期
総合的な 学習の 時間	① 積極的に課題に取り組むことができたか。			
	② 調べ方・まとめ方・発表など工夫できたか。			
	③ 総合的な学習の時間を有効に使えたか。			
	④ 社会科学見学には積極的に取り組めたか。			
	⑤ 職場体験学習には積極的に取り組めたか。			
	⑥ 仲間との協力で合議を作り上げる。			
	⑦			
	⑧			
	⑨ 学期毎の取り組みについて（反省・感想・成果等）			
1				
2				
3				
学 期				